

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月28日  
北海道運輸局

協議会名: JR北海道の維持困難線区に関する東胆振首長懇談会作業部会

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項含む)	評価結果	
JR北海道 の維持困 難線区に 関する東胆振 首長懇談 会作業部 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共交通の利用実態意向調査・列車バス共通時刻表配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道、バスのモード別また路線別に作成されている時刻表を共通化することにより公共交通の認知度向上、利便性告知を図るとともに公共交通に対する意識・ニーズの把握を行う。</li> <li>・送付800件中172件(21.5%)の回答があり、61%が「日高線は重要」と捉えており、維持存続の取組の必要性を再確認した。</li> <li>・共通時刻表について、継続して作成してほしいとの声も多く、おおむね好評であった。</li> </ul> </li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き沿線住民の生活の足を確保していくため、マイルール意識の醸成を図る取組や利用促進に向けた取組を推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業は計画どおりに実施されている。</li> <li>・今後、持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築に向けて取り組んでいただきたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●観光による利用促進の取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一日散歩きっぷ」(土日祝に札幌圏で発売)所持者に対して、日高線・室蘭線と並行するバスに無料で乗車できる仕組みを構築。</li> <li>・室蘭線と連携し、沿線の観光施設や飲食店の利用を条件とした「ご当地カードラリー」を実施するほか、観光による鉄道利用促進の可能性を探るためにアンケート調査を実施。</li> <li>・一日散歩きっぷ利用路線バス乗車実績: 14人</li> <li>・カード引換枚数: 602枚</li> <li>・アンケート集約件数: 38枚</li> </ul> </li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌圏から近距離にある沿線の優位性を活かし、沿線観光素材や地域施設、イベント等との連携による誘客施策を検討していく。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モーダルミックスによる鉄道利用促進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR定期券利用者を対象とした沿線のバスに無料で乗車可能とする取組を実施するほか、効果検証を目的としたアンケート調査を実施。</li> <li>・利用実績: 176人</li> <li>・アンケート調査回収状況: 19件</li> </ul> </li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通全体でフリークエンシーを向上させ、通勤・通学の利便性を高めていくための取組について、交通事業者等と検討を進める。</li> </ul>		